

柑橘農業塾開講 安定生産目指す

JAせとだ柑橘事務所は4月9日、尾道市瀬戸田町で「せとだ柑橘農業塾」を開きました。栽培未経験者や定年帰農者、技術向上を目指す20〜70代の23人が受講。JA広島果実連の南口優技師が各品種の特徴や春先から本格的に始まる栽培管理について講義しました。同塾は、安定生産や成品率向上を目的に年間を通して毎月実施。温州ミカンは糖度11以上、中晩柑類は大玉生産を目標に、作業時期に合わせた講義や園地実習を通して土づくりや整枝、病害虫防除など栽培を基礎から指導しています。



▲講義する南口技師

リニューアルオープンした瀬戸田PAで 特産品販売

せとだ柑橘事務所は、4月20日、しまなみ海道にあるリニューアルオープンした瀬戸田パーキングエリア(PA)で、慣行栽培に比べ化

学合成農業・化学合成肥料を半分以下に抑えた同JAのブランドレモン「せとだエコレモン」を使用した自社商品をPRしました。施設内に設けられたブ



スでは、取扱商品の紹介とともに缶入り炭酸飲料水「レモンC」を販売しました。当日は多くの来場者でにぎわい、「レモンC」は完売。購入者からは「酸っぱすぎず飲みやすい」と好評で、関西方面から訪れた人がケースで購入する姿も見られました。

女性部総会

JA女性部三原地区本部は4月10日、三原市のJAビルで総会を開きました。2025年度の活動や収支決算などを報告し、今年度の活動計画や収支予算などを承認しました。同地区本部は部員560人で構成しており、食農教育活動や地産地消の推進、SDGsや福祉に関する学習会を通じて地域社会の活性化に取り組みます。

今年度はJA全国女性組織協議会の3か年計画「あい♥」からはじまる『元気な地域』をみんなの力で『実践2年目』を引き続きJA事業や地域活動へ積極的に参加し、地産地消や健康管理活動を進めることなどを確認しました。



▲挨拶する下久保幸子部長

青壮年連盟総会

JA青壮年連盟三原地区本部は4月16日、本郷アグリセンターで第31回通常総会を開催しました。2025年度はJA広島信連とのグリーンツーリズム、広島大学のインターンシップの実施を盟友が対応し、交流を図りました。JAイベントでは各盟友の農畜産物を販売し、活動を多くの方にPRしました。また、管内の小中学生を対象にサトイモの収穫体験を行いました。

今年度も地域活動に積極的に参加し、食農教育活動を継続して取り組むことを計画。盟友間での情報交換、相互交流を深める場として積極的に勉強会を開き、営農技術の向上や見識の拡大を目指します。



▲猪上淳委員長



水稲

〔中干し〕

中干しは、水田から水を抜いて土壌を乾かす水管理作業です。米の品質や収量を左右する重要な作業なので、中干しの重要性を再認識して米のさらなる品質向上を目指しましょう。

〔中干しの効果〕

- ①有害ガス(硫化水素、メタンガスなど)の除去・抑制
- ②根の活力を高めて下層への根の伸長を促すことにより耐倒伏性や耐候性を高める
- ③余分な窒素肥料の供給を抑制して過剰分げつを防ぐ
- ④土壌を硬くして施肥や刈取りなどの作業性を高める

〔中干しの方法〕

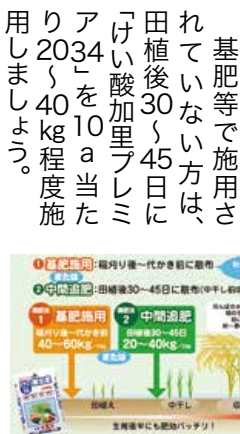
中干しは、2葉以上ある茎が1株20本程度確保できた頃(田植え後40〜45日程度を目安に実施し、2週間程度継続します。ただし、幼穂形成期(出穂30日前)までには終了しましょう。

中干しの程度は、表面に小さな亀裂が入り、足跡がつく程度とします。土壌表面が白く乾いて、大きな亀裂ができる、根が切断されて生育に悪影響を及ぼします。適度に入水して、乾かしすぎないように注意しましょう。

中干し終了後は走り水を行い、徐々に間断かんがいへ移行してください。登熟期間中は足跡に水が溜まる程度の飽水状態を維持しましょう。

〔けい酸〕

けい酸は、健全な稲体をつくるために重要な養分で、幼穂形成期から吸収が活発になり、倒伏軽減・高温障害対策として高い効果を発揮します。基肥等で施用されていない方は、田植え後30〜45日に「けい酸加里ブレミア34」を10a当たり20〜40kg程度施用しましょう。



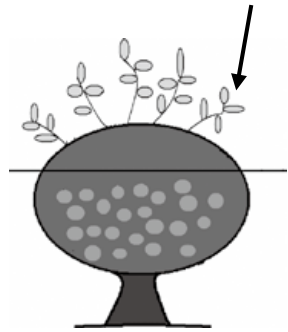
柑橘

6月は生理落果が盛んとなり、新梢の葉が硬化する時期です。梅雨時期に入るため、作業が遅れないよう注意しましょう。

〇表年の温州みかん樹の管理

本年の着果量が多い樹では次年度の着果を確保することを目的に6月から摘果を行って下さい。摘果の方法は早生温州が樹冠上部1/3全摘

夏芽は次年利用するため、発生する結果母枝と残しておく。発生する結果母枝と残しておくため、切らずに



樹冠上部1/3全摘果

果で、いじじ温州は枝別全摘果で実施してください。摘果後に発生する夏芽は次年度の結果母枝として利用するため、切らずに残しておきましょう。

〇夏年の温州みかん樹の管理

開花後から幼果期に乾燥すると生理落果が増加するため、降雨が少ない場合は20mmのかん水を実施しましょう。

〇中晩柑類の摘果

生理落果の終わる6月下旬から荒もぎ摘果を始め、摘果必要量の8割を目安に行ってください。

〇病害虫防除

・黒点病 黒点病は枯れ枝が伝染源となつて降雨により果実に感染します。薬剤散布の目安は前回散布から30日後となります。なお、散布後に200〜250mmの降雨がある場合は再散布が必要となります。

・アザミウマ類

アザミウマ類の発生が多くなる時期になります。温州みかん・中晩柑類は6月上旬〜中旬に、レモンは6



▲レモンアザミウマ被害果

月下旬を目安にスピノエースフロアブルを5,000倍で散布しましょう。

落葉果樹

摘果・摘粒・摘房 作業の目的

- ・花芽分化に必要な樹体養分を確保し品目によって隔年結果を防ぎ連年安定生産させる。
- ・着果数を適正に管理し果実の大きさや商品性の向上を図る。
- ・新梢を適度に生育させて樹勢の維持を図る。

品目ごとのポイント

ブドウ：1回目のジベレリン処理が終わわり、実止まりが確認できたら樹勢の弱い樹から摘房を行います。また、2回目のジベレリン処理までに房の整形を行います。穂軸の長さは、2回目のジベレリン処理時点で、ピオーネ、シャインマスカットが約6cm、マスカットベリーAで約7cm程度が目安となります。房の長さの調整が終了したら摘粒を行います。摘粒では、小粒果、奇形果、変形果、内向き果、飛び出し果を除去し房型を整えます。ピオーネやシャインマスカットは40粒、ベリーAは80粒程度を目安に実施します。

モモ：仕上げ摘果終了後、再度適正着果量かどうか見直し摘果を行います。中果枝(20〜30cm)で1果、長果枝(30cm以上)で2果、短果枝群(10cm前後)で5〜6枝に1果程

度を目安に実施します。また、摘果の見直しをしながら「袋かけ」を行います。

カキ：開花が終了したら生理落果が始まります。生理落果終了後、奇形果や病害虫被害果、発育不良果、傷果などを中心に摘果します。着果が多く摘果が少なければ翌年の着果量にも影響します（隔年結果の助長）。

キウイフルーツ：長果枝では3〜4果、中果枝では2果、短果枝では1〜0果程度を目安に摘果を行います。摘果する果実は、奇形果や扁平果などを中心に摘果します。

イチジク：基本的には摘果作業をする必要がありません。

果樹の生理落果について
5〜6月にかけて多くの品目で生理落果という現象が起こります。生理落果は植物本来の性質で、自然に果実が落果することをいいますが、その多少については気象や樹体状況によって左右されます。開花直後に起こる生理落果は前年結果過多や早期落葉等で花器が不完全で受精能力がないことから起こります。次に満開後20日頃の場合は、不受精が原因です。開花期の天候が雨や低温で花粉を媒介する昆虫の発生が少なく花粉の発芽がないと発生します。また、開花期の気温、特に夜間温度が高いと生理落果が多くなります。

新梢の管理（芽かき・摘心・捻枝・誘引・副梢の管理）

先月に引き続き、発生状況を確認

しながら、込み合っていると芽かきや枝抜き、枝の伸長を抑制させるための摘心や捻枝などを行います。また、副梢（わき芽）の発生がみられたら1〜2枚で摘心するか、込み合っている場合は除去します。

排水対策

梅雨の降雨により、圃場内に滞水することがあります。滞水により根の生育阻害や根傷みで樹勢低下を招くおそれがあります。滞水しないように溝切りや排水路の整備をします。

病害虫対策

気温も上昇し、梅雨の降雨で病害の多発が懸念されます。また、害虫の活動も活発になってきます。天候や圃場の発生状況を確認し、収量確保や高品質生産のため防除対策を徹底します。

注意する主な病害虫

ブドウ：灰色かび病、べト病、晩腐病、褐斑病、アザミウマ類（写真1）等
カキ：落葉病、炭疽病、カキノヘタムシガ等
モモ：灰星病、黒星病（写真2）、シンクイムシ類等

イチジク：そうか病、カミキリムシ類等
キウイフルーツ：果実軟腐病等



写真1 アザミウマ類の被害



写真2 モモの黒星病

家庭菜園

梅雨も本番となり雨の日が多くなりました。しかし、収穫などの作業は待ってくれません。体調に気を付けて圃場での作業を行ってください。さて、今月は思うように圃場での作業が進まないこの時期にでも可能なプランター栽培についてご紹介します。まず、プランター栽培のメリット、デメリットをご説明します。

メリット

●**場所を選ばない**
玄関先や室内などわずかなスペースで栽培ができることが最大のメリットです。

●**管理が容易**

プランターの大きさにもよりますが、持ち運びが可能なので天候に合わせて場所を変更することが可能です。また、防虫ネットなども容易に被せることが可能です。

●**デメリット**

○**こまめな管理が必要**

土の量が限られているため、水や肥料分を蓄える力が小さく、乾燥や肥切れが早い傾向にあります。灌水や水やりについては、夏場は朝晩の2回の水やりが必要となる場合があります。肥料についても生育を見ながら追肥を行います。特に、トマトなど栽培期間の長い野菜では肥切れに注意しましょう。

○**温度変化の影響を受けやすい**

外気の影響を受けやすく圃場よりも温度が急激に変化しやすいのも特徴です。さらに、直射日光が当たると場合は高温となり作物がストレスを受けやすくなります。

これらのメリット・デメリットを考慮し栽培しやすい作物は…
「栽培期間が短く根が浅い作物」となります。

- ・ 具体的には
- ・ 小松菜
- ・ ラディッシュ
- ・ ほうれん草
- ・ 水菜
- ・ チンゲン菜

などがあります。主には葉物野菜になります。特に小松菜は暑さにも強く近年の夏の酷暑でも栽培が比較的容易ですので、チャレンジしてみてください。

プランター栽培に適した資材を掲載しますので、参考にしてみてください。

・ **JAの土**

初期生育に必要な肥料分を含み、酸性度や保水性を調整した土。短期間の栽培であれば追肥は不要。

・ **鹿沼土**

プランターの鉢底に使用し、排水性、通気性を確保できる。



▶ Information お知らせ

親子で農業体験 in 三原 2026

三原市高坂町で5月9日、「親子で農業体験in三原」を開催しました！参加者は裸足で田んぼに入り、田植えを体験。苗を手に持ち真っすぐになるようひとつひとつ丁寧に植えました。9月には稲刈り体験を予定しています♪



初めての田植えにわくわく♪

勉強会も実施



田植え機の乗車体験も実施！



おいしいお米になあれ！



親子で頑張りました！



たくさん植えたよ！



もっと! みはらニュース!

3/27 第10回「JAひろしま本郷中央支店」杯 グラウンド・ゴルフ大会

三原市北方グラウンド・ゴルフ場でグラウンド・ゴルフ大会が開かれ、交流を深めました♪



7月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】

8:30～17:00

【年金相談会 開催時間】

10:00～16:00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
			三原西	三原					年金相談会	三原西	三原						三原西	三原	三原					三原西	三原					
				本郷					三原西支店		本郷							三原西	本郷	本郷					本郷					
				久井							久井							本郷	久井	久井					久井					
				鷺浦							鷺浦							鷺浦	鷺浦	鷺浦					鷺浦					
				せとだ							せとだ							せとだ	せとだ	せとだ					せとだ					
				竹原							竹原							竹原	竹原	竹原					竹原					